



たちばな

〔文責 校長 吉田 恵仁〕

後期もがんばります!

10月8日(金)に前期の終業式、12日(火)に後期の始業式を行いました。前期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リモートで全校集会を行っていたので、全校児童が一堂に会するのは、久しぶりのことでした。終業式も始業式においても子どもたちは、背筋をのびし、静かに話を聞くことができました。

また、始業式では2年生と3年生の代表児童6名が前期の学習や生活の振り返りを元に、後期のめあてを大きな声でしっかりと発表することができました。大変落ち着いた態度で行事に参加することができる子どもたちに成長していることを、職員みんな喜んでいました。

私の方からは、今年ノーベル物理学賞を受賞された真鍋淑郎さんを紹介し、好奇心をもって取り組むことの大切さについて話をしました。子どもたちの好奇心を大切に、めあてをもって頑張れるよう、支援していきます。



【後期のめあてを発表している2・3年生】

基礎学力の向上に向けてチャレンジタイム

本校では、算数科や国語科の基礎基本の定着、書く力の向上を目指してチャレンジタイムを設定しています。火曜日から木曜日の朝の活動の時間を活用して、計算練習や国語の教科書や天声子ども語を活用した音読や視写、考えと理由の書き方などの練習を行います。夏休み明けのチャレンジタイムでは視写をしました。静まりかえった教室からは、文字を書く鉛筆の動く音だけが聞こえてきます。子どもたちが大変集中して取り組んでいることがわかりました。1回目は3分間で50字視写していた子どもが、最近では約100字視写することができるようになるなど、子どもの力の伸びに驚かせられます。後期もこれらの基礎的な力をしっかりと身につけ、思考力・判断力・表現力の向上に取り組んでいきたいと思えます。



【視写をしている様子】

6年生 長崎で歴史や文化を学んできました。

10月15日(金)～16日(土)の2日間、6年生は長崎市内へ修学旅行に行ってきました。

【修学旅行のめあて】

- 原爆や戦争の恐ろしさを知り、平和について、自分たちにできることを考え、伝えよう。
- 自分たちで考えて進んで行動し、友達と協力して、みんなが楽しく思い出に残る修学旅行にしよう。

1日目は、平和学習でした。原爆資料館の見学をした後、被爆体験者の三瀬清朗さんから話を聞いたり、ボランティアガイドさんと一緒にフィールドワークをしたりして、戦争や原爆の恐ろしさ、命の大切さを感じ、平和への祈りを新たにしました。

2日目は、長崎歴史文化博物館から大浦天主堂下まで、歴史学習のフィールドワークをしました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止として、電車を使わず、長崎のまちを歩きました。道を間違えたり、方角が違って困ったりと、小さなハプニングはありましたが、地元の人々の力を借り、みんなで協力して無事にゴールにたどり着くことができました。

この2日間、たくさんの学びを得ることができ、充実した修学旅行になりました。



【平和祈念像前】



【大浦天主堂前】

学習室 ジャック・オ・ランタンづくりに挑戦



先日、JA八女青年部から大きなかぼちゃをいただきました。

そこで、学習室では、そのかぼちゃを使ってジャック・オ・ランタンづくりをしました。

大きくて重たいかぼちゃに驚きながらも、みんなで協力して中身を取り出したあと、目と口を丁寧に掘りました。

とても上手にランタンができあがりました。楽しいハロウィンになりそうです。

～資源回収の延期のお願い～

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春に予定していた運動会を11月6日(土)に実施致します。つきましては、PTA総会の要項に本年度の事業計画であげていた11月6日の資源回収は延期させていただきます。

(次回の資源回収の日には、感染状況をみながら決定します。決まり次第お知らせします。)

PTA活動も様々な事業が変更になり、大変ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解・ご協力の程、よろしくごお願い致します。

